

法人（事業所）理念		「ココロ」と「カラダ」を整える 子どもたちの「ココロ」に寄り添い、「カラダ」を沢山使った支援を行います。発達と感覚の統合を目指すデイサービスです。 子どもたちが、笑顔で過ごす場所、頑張ろうと思える場所、そして何より「楽しい場所」でありたいと私たちは考えています。		
支援方針		自分に自信がなく、ちょっとしたことであきらめてしまう。自分の気持ちを上手く伝えることが難しい子どもたちの笑顔と自己肯定感を引き出すのが私たちの役割です。 私たちの発達支援には、脳の発達段階を助けるプログラムを盛りこんでおります。 子どもたちが、「楽しい！」と感じながら活動できたとき、「ココロ」と「カラダ」が統合されていきます。 困っている所を改善し、一つ一つの「できた！」を自信に変えることが出来るように支援をしています。		
営業時間		各事業所 10時 30分から 16時 30分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容				
本人支援	健康・生活	検温、手洗い、うがいなどの生活習慣の定着や、来所時・退所時の身支度を自立して取り組めるよう絵カードやわかりやすい環境調整（構造化）をして支援しております。 1日のスケジュールを可視化して掲示することで、見通しも持ちながら時間に応じた行動の切り替えができるよう支援していきます。 料理やお菓子作りなどを通じた食育を行い、生活に必要な技能の獲得をサポートします。 トイレトレーニングによる排泄面の自立や、食事、睡眠、着脱衣、清潔などの基本的な生活習慣を身につけられるよう支援します。 活動時間の切り替えなど集団指示で動くことができるように、一人一人に合った環境づくりや手厚いサポート体制で一人一人に寄り添いながら支援していきます。		
	運動・感覚	トランポリンやハンモックなど全身を使った粗大運動での遊びの提案を行い、運動機能・姿勢保持の向上を目指します。 おにごっこ、しっぽ取り、サーキット遊び、など仲間と関わりながらルールのある運動遊びを楽しみます。 スライム遊び・水遊び・箸つかみ、工作、シール貼り、塗り絵やアイロンビーズなどの手先・指先を使った微細運動やリズム遊びなどを通して視覚や聴覚に刺激を与える感覚遊びを通して楽しみながら感覚機能の向上を目指します。		
	認知・行動	お子様の発達や特性に合わせて、課題を設定し、小集団、個別それぞれに課題に取り組む時間を作ります。 ブロックや工作など、立体の造形物を使った創作活動を通して 数量、形の大きさ、重さ、色の違い等の習得のための支援を行います。 音楽やリズムを使って五感を刺激する活動では、様々な音楽の流れに合わせて動くことで「表現力」や「判断力」を身につけ、大きく動いたり、空間を意識しながら動く協調運動に取り組めます。		
	言語 コミュニケーション	絵カード、ジェスチャー・サインなどのコミュニケーション手段を適切に選択、活用し、意思の伝達ができるよう適切に支援します。 動物・生活用品・食べ物などのカードを用いた物の名称の習得、危険なことと安全なことの理解、集団生活でのルールの理解を促すことで適切な認知と適切な行動の習得を目指します。		
	人間関係 社会性	同世代の子ども同士との関わりが難しい場合には、大人が寄り添い介入することで役割分担やルールのある協同あそびを促し、社会性の発達を支援します。 家族以外の他者との関係づくり、支援者や友達のまねっこ遊び、ごっこ遊び、小集団でのゲーム、触れ合い遊び、事業所外でのお出掛け（散歩・公園・体育館・お買い物・その他公共施設等）を通して、仲間づくりと集団への参加意欲を育みます。		
家族支援	随時相談に乗りながら保護者様の悩みを聞き専門的な視点からアドバイスを行っています。 認知の偏り等の個々の特性に関する情報を伝えこたわりや偏食等に対する家庭での具体的な支援を提案していきます。	移行支援	必要に応じて園・学校とも連携を取りながら情報共有を行い、支援内容の検討、進路や移行先について保護者様と一緒に準備を行っています。	
地域支援・地域連携	医療機関や発達支援センター、相談支援事業所、他の児童通所支援事業所との情報共有を行いながら支援内容の検討をしていきます。	職員の質の向上	定期的に社内研修を行い、専門的な知識の向上に努めています。 外部講師を派遣して研修を受けたり、外部での研修に参加しています。	
主な行事等	花見、夏祭り、ハロウィン、運動会、お楽しみ会、クリスマス会、水遊び、公園での運動遊び、クッキング、買い物支援、トランポリン施設、などの体験活動			